

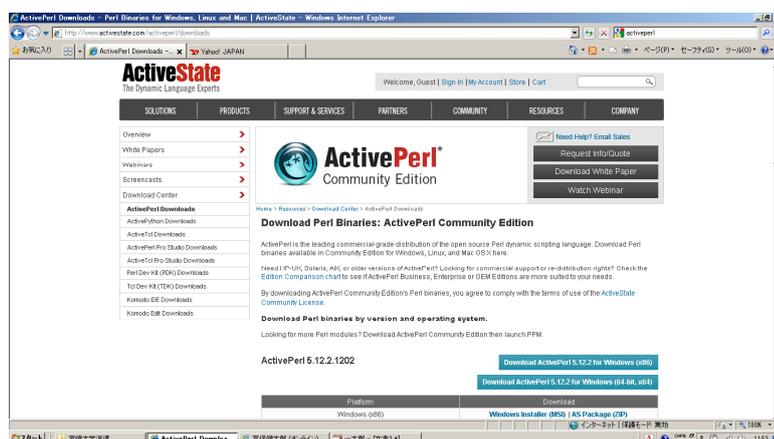
グループウェア[Time To Spare]導入マニュアル

グループウェア[Time to Spare]とは、学校現場において無料で、簡単に使えることを目的として作成した Web アプリケーションです。導入に当たっては、サーバー機の設定のみでクライアント機のブラウザ(IE 推奨)からアクセスできるようになります。本グループウェアを活用して、校務の情報化がより進むことを願います。

1 準備と確認

LAN でネットワーク化されていれば OK です。サーバー用の PC を一台決めてください。OS は特に問いません。今回は、Windows 環境における導入の説明とします。ただし、サーバー機は IP アドレス¹ が固定されていることを確認してください。

2 サーバー機への ActivePerl のインストール



TimeToSpare は Perl という言語で作成されています。サーバー機が Perl を読めるようにします。

<http://www.activestate.com/activeperl/downloads> のサイトから無料でダウンロードできます。現在、ActivePerl 5.12.2.1202 が最新バージョンのようです。Windows インストーラー付きなので、ダウンロードして保存したファイルをダブルクリックするとインストールは自動実行²されます。

3 WEB サーバソフトのインストール

WEB 用のサーバソフトのインストールを行います。様々な WEB サーバー用ソフトはありますが、今回はイントラネット内で使いやすく、メールやプロキシ、DHCP 等多様なサーバー機能が一括して利用できる BlackJumboDog(以下 BJD)を利用します。

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/servernt/server/blackjmbdog.html> 等のフリーソフトダウンロードサイトからダウンロードします。上記サイトでは、bjd4-2-3.lzh が配布されています。ダウンロードしたら解凍してください。解凍用のソフトがない場合はやはり、フリーの海洋用ソフトをダウンロードしてインストールしてください。

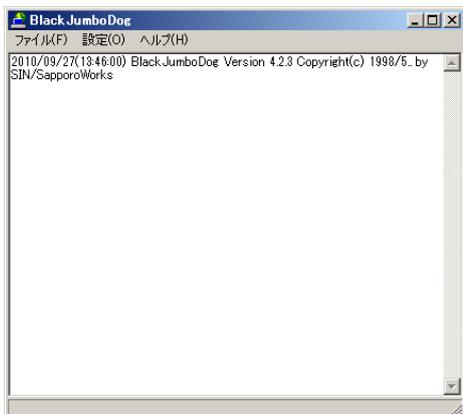
bjd4-2-3.lzh を解凍すると、SETUP.exe があります。これをダブルクリックしてインストールします。インストールはすぐ終わります。³

4 グループウェア[Time To Spare]の解凍

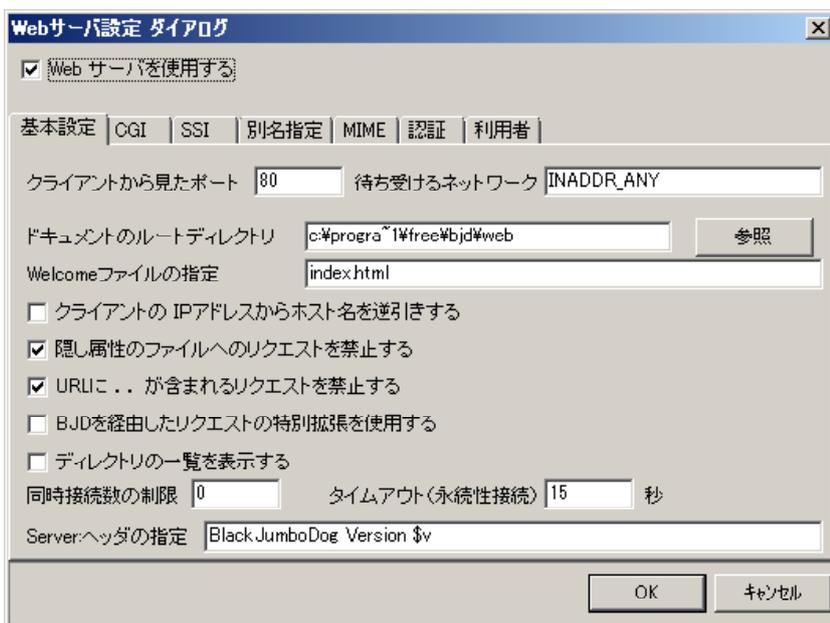
グループウェア[Time To Spare]も圧縮してあります。デスクトップでもどこでも構いませんので、解凍してくださ

い。

5 BJD のセッティング



BJD を起動します。「設定」→「Web サーバー」→「仮想ホスト」と選択します。表示用に適当な名前をつけて(例えば school)追加をクリックします。すると、仮想ホストの下に school という仮想ホストができます。新しくできた仮想ホストをクリックします。



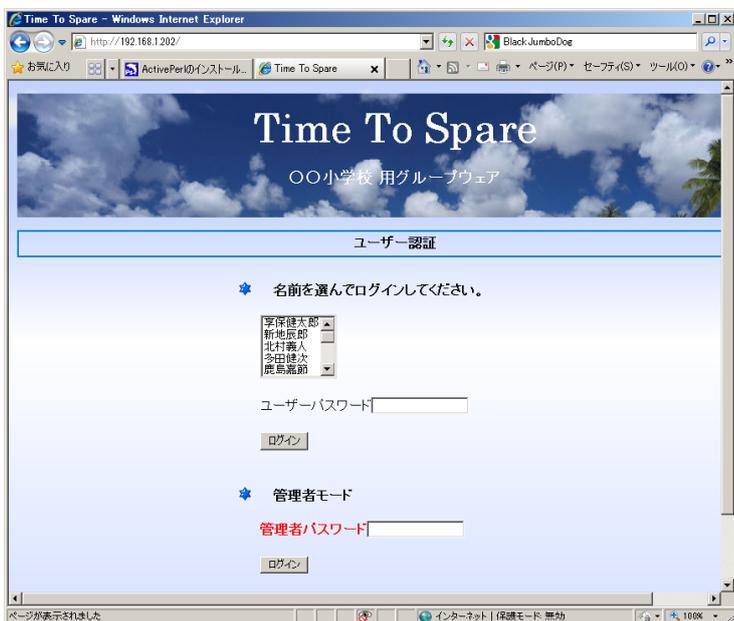
「Web サーバーを試用する」をクリックすると左の図になります。

ここで、「ドキュメントルートのディレクトリ」を4で解凍したフォルダを選択します。

「Welcome ファイルの指定」では、index.cgi と入力します。

OK をクリックするとスレッドが初期化され、準備終了です。

6 クライアントからのアクセス



インターネットエクスプローラを起動し、サーバー機の IP アドレスを入力します。アクセスに成功すると、左の図のような画面になります。

7 注意点

アクセスがうまくできないときは、インターネットエクスプローラのプロキシの設定が原因かもしれません。宮崎県などでは、フィルタリングとして学校用のプロキシが設定してありますので、ローカルアドレスではプロキシを通さないように除外設定をしてやる必要があります。

* 1

DHCP でアドレスの予約がしてある場合は IP アドレスが変わることはないと思いますが、一応固定の方が安心かと思
います。

* 2

以下のサイトを参考にインストールしてください。

<http://pocketstudio.jp/win/activeperl/>

* 3

<http://www.kamezoh.net/bjd-doc/>のサイトより BJD の取扱説明書が配布されています。